

平成23年度 上春別中だより《第16号》

みずなら



<発行責任者>
校長 亀 彰

(12月16日 発行)

指 標：『明日の自分のために今日頑張れる人』

< 教 育 目 標 >

知性を磨き 心豊かに逞しく

< 校 訓 >

自主 実践 協調

< めざす生徒像 >

自ら感じ 考え 行動する生徒

授業参観ありがとうございました

12月14日(水)、2学期の授業参観を行いました。事前に欠席連絡があった1家庭を除いた11家庭が学校を訪れてくれました。中にはご夫婦で授業を参加してくださいました。中にはご夫婦で授業を参加してくださいました。子ども達の教育に対する関心の高さと愛情の深さを感じました。また、学校評議員の方も授業を参観してくださいました。

2年生の理科の授業は雲のでき方を学ぶ学習でしたが、保護者も一緒に参加した実験を中心とする授業が行われました。懐かしさもあり、保護者も一緒に実験を楽しんでいました。1年生の国語の授業では、好きな言葉を選び、その時間の中で文章を書き、発表する授業でした。緊張の表情を浮かべ、発表をする子ども達が印象的な授業でした。3年生は社会の授業で日本の借金について学びました。教室からインターネットにつながぎ、日本の借金が増えていく様子を調べたり、それに対する対策を考えたり、難しい課題に取り組んでいました。

懇談会では、2学期の子ども達の様子(学習面、生活アンケートの結果等)や冬休みの過ごした方について話されました。学級懇談では、日頃の学級の様子や2学期の子ども達の活躍、親子調理教室、進路や卒業式への取組み、アルバムなどについて話し合いました。

何かと忙しい年末にたくさんの保護者の皆様の参観を頂き、感謝申し上げます。



弁論大会(町内大会)

11月26日(土)、マルチメディア館において別海町の中学生による弁論大会が行われました。本校からは奥綾さんと吉真さんの二人が出場しました。たくさんの観衆を前に淡々と自分の主張を語りかけていました。中でも吉さんの弁論は、審査員の講評で異例とも言える名前を出しての講評となりました。転校して来てからの吉さんの心の動きに共感する講評が審査員長から述べられました。残念ながら二人とも佳良賞でしたが、弁論大会へ向けての二人の取組みは十分に評価できる内容だったと思います。



青少年劇場

12月1日(木)に西春別中学校を会場に青少年劇場が行われました。普段見ること

のない劇や音楽等を生で見せてくれるという行事です。DVDやCDでは再現できないライブの感動がある行事です。今年は演劇を見せていただきました。出演者はたった二人。しかし、それ以上の迫力。子ども達は大変感動したとのことでした。また、劇終了後の発声や演技指導は和気藹々と楽しい雰囲気で行われました。最後に前さんが学校を代表して劇団員の方に花束を贈呈しました。



楽しいクッキング

11月27日(日)に上春別生涯学習推進協議会主催の行事「楽しいクッキング」が行われました。「つくろっと」の皆さんを講師に向かえ、スープやシューマイ作りなどに挑戦しました。1年生を中心に参加し、各グループのまとめ役や世話役として頑張りました。



行事は約2時間ほどでしたが、最後には各グループでつくった料理の試食もあり、楽しい時間となりました。



職場体験学習報告会

職場体験学習の報告会を12月6日(火)に行いました。11月の職場体験学習でいろいろなことを学んだ2年生。それぞれ



ポイントを使ってその体験まとめ、1年生と3年生の前で発表しました。ともだち食堂での体験を発表した前さんは接客の難しさ、小学校の体験を発表した内君は先生の難しさや先生になりたい自分の気持ちを発表しました。動物病院を訪問した向君は命の大切さを改めて感じ、酪農に取り組む決意を発表しました。



今回の発表は自分の進路に直結したもので、今後の2年生の頑張りが期待できる内容となりました。

親子調理実習

11月29日(火)に2・3年生の親子調理実習が行われました。今年はハンバーグやワンタンスープ、抹茶ぜんざい、クレープ、天津飯、ピザと盛りだく



さん。子ども達が調べたレシピを元に、親子が腕をふるって調理実習を行いました。

職員室にもおすそ分けができました。とてもおいしくいただきました。ありがとうございました。

